



コロナとニオイと空気質

新型コロナウイルスの国内感染が初めて確認されてから半年。今やマスクなしでの外出は考えられず、ソーシャルディスタンス、テレワークといった非接触、非対面の感染防止対策も日常となりました。換気の悪い密閉空間で起こる感染の報道に、室内の空気が安全ではない事を思い知らされ、今まで気にかけたこともなかった室内の空気、その大切さを感じた方もいらっしゃるのでは・・・？
 私たち EVERWALL は、2008年から室内の空気質と健康について警鐘を鳴らしてきました。

室内空気は外気より 96 倍ひどい？

2007年12月28日、米国環境保護庁では、「アメリカでは外気の汚染より一般家庭の室内空気質のほうが96倍ひどい場合もある」さらに「インテリアの内装材が室内の空気汚染を引き起こしている。化学物質過敏症の人にとってこの汚染は症状をひどく悪化させる可能性がある」と発表されています。



[弊社リーフレットより]

このコロナ禍だからこそ、そこにもう一度立ち振り返り目には見えない空気汚染の一つでもあるニオイに焦点をあてました。



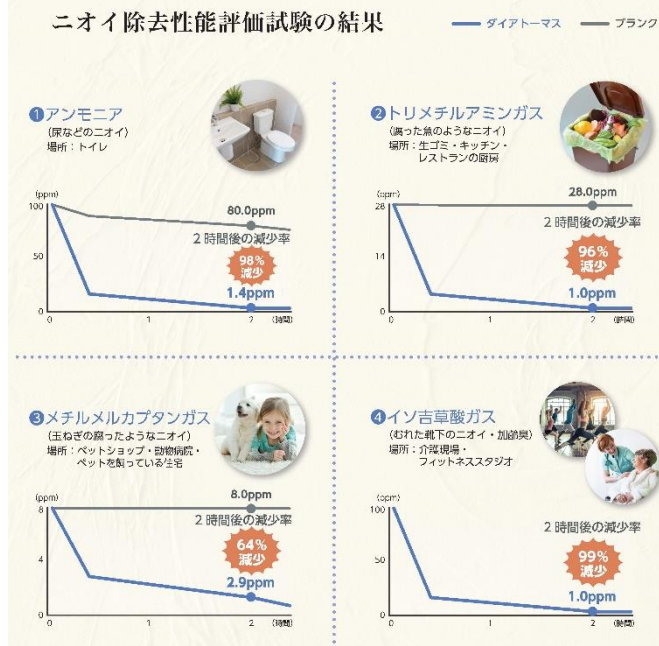
ニオイは空気汚染のバロメーター

今回改めてEVERWALLは、アンモニアをはじめ、キッチン・ペット・衣服などニオイの種類別に消臭試験を実施しました。右図にあるように、ニオイの発生から約2時間でほぼ分解消臭されたとの結果が出ました。

以前より「ダイアトーマスにしたらニオイが気にならなくなった」と多くのご評価を頂いてきましたが、今回の試験結果(エビデンス)をご覧頂いて一人でも多くの方が、室内空気汚染を真剣に考え具体的に行動するきっかけとなることを、私たちは願っています

ダイアトーマスは室内の空気質を改善します。

ニオイ除去性能評価試験の結果



新リーフレット:ニオイ除去性能評価試験の結果